

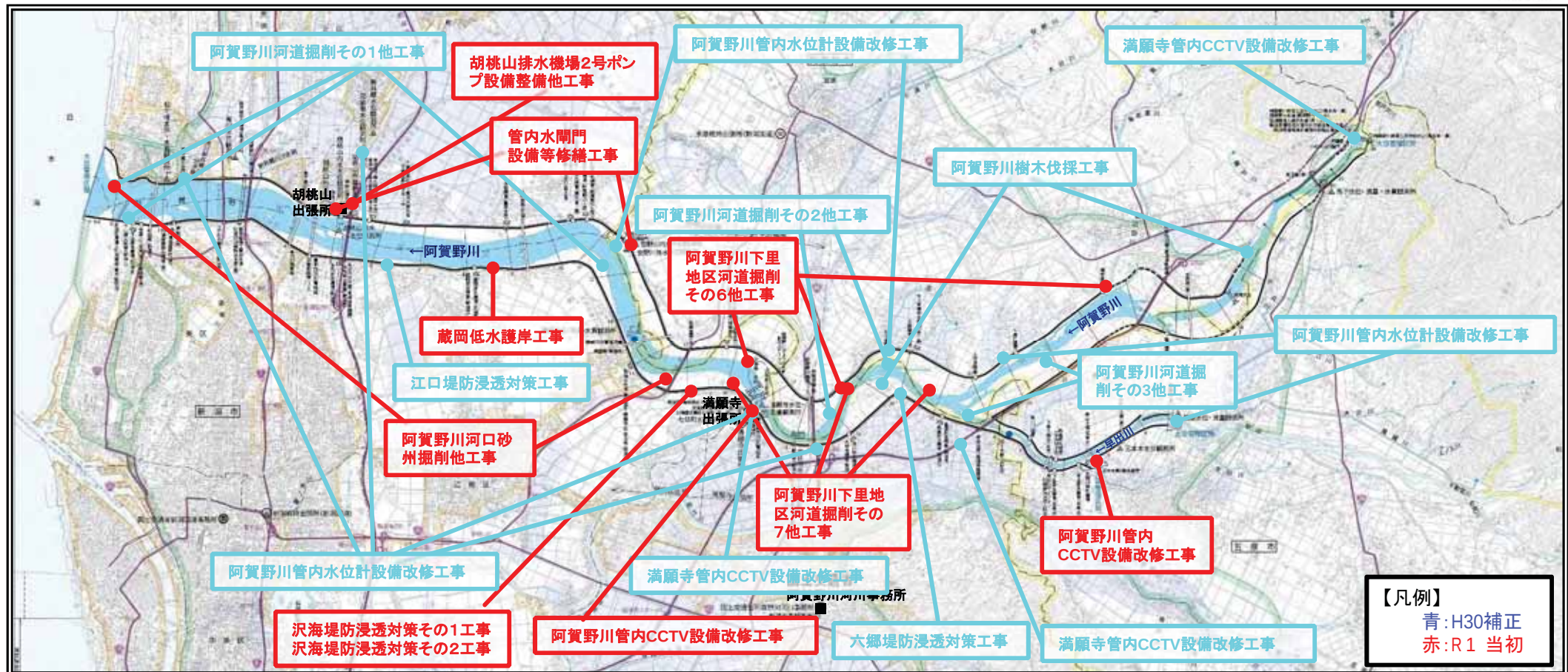
各機関の取組状況について

2) 取組状況

カテゴリ	河道掘削、侵食対策、浸透対策 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ・簡易水位計や量水標等の設置
内 容	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進 CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



令和元年度 阿賀野川河川事務所の河川事業の概要

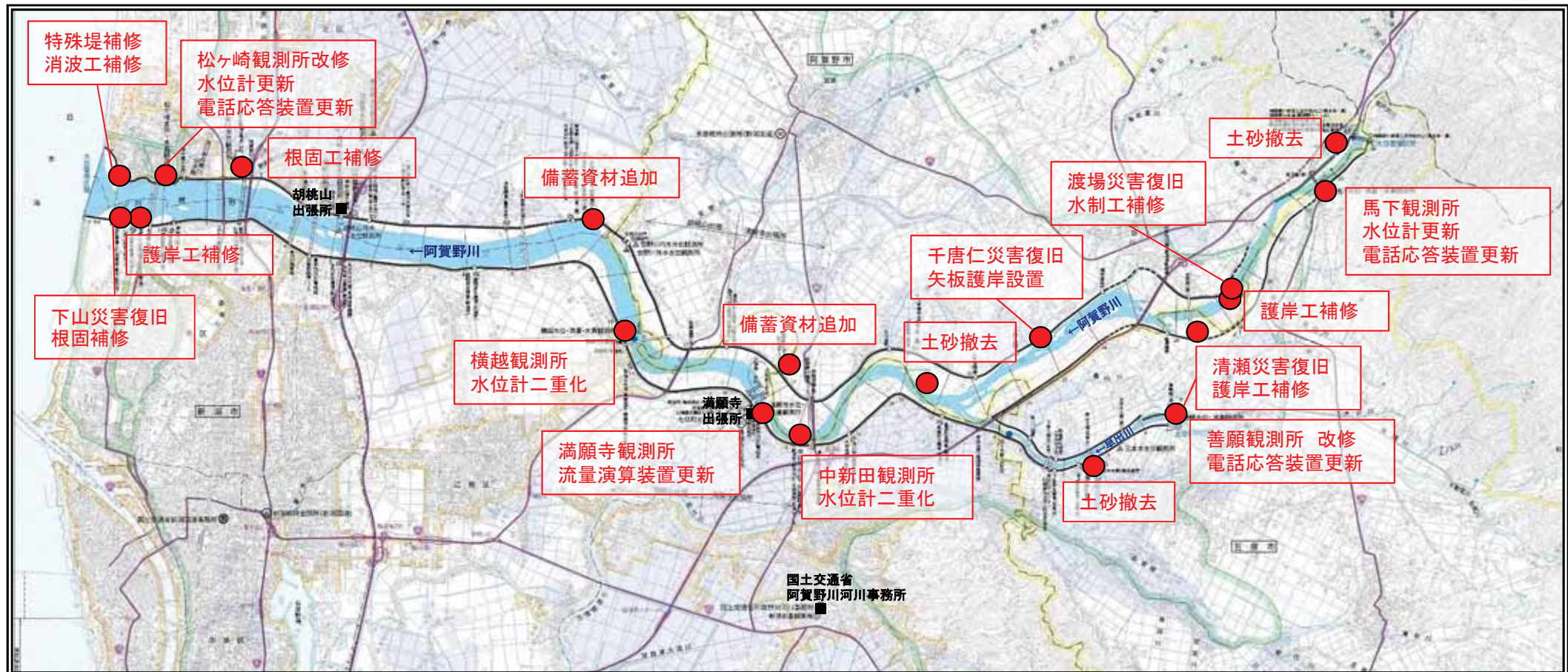


ここに記載する内容は平成31年4月15日現在の見通し(予定)であるため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。

カテゴリ	河道掘削、侵食対策、浸透対策 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ・簡易水位計や量水標等の設置
内 容	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進 CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



令和元年度 補正予算 施行箇所(予定)



ここに記載する内容は令和2年2月末現在の見通し(予定)であるため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。

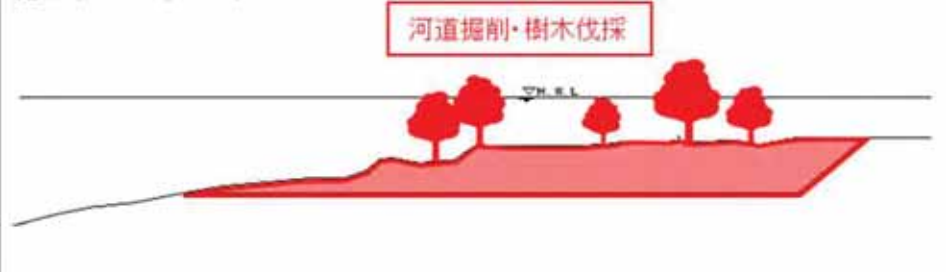
3か年緊急対策進捗状況【阿賀野川水系阿賀野川】令和2年1月1日時点

- あがのがわ 阿賀野川では氾濫による危険性が特に高い区間において、洪水を安全に流下させるために必要な樹木伐採・河道掘削等を実施します。

对策内容



施工イメージ(A-A')



对策前



現在



樹木伐採、
河道掘削実施中

対策の効果(水位低減効果)

B-B'断面



樹木伐採～三つのコスト削減の取り組み～

河川内の樹木は、洪水時に流れの妨げとなって、さらには流された樹木により、堤防や護岸などの河川管理施設に損傷等を与える危険性があり、治水上問題となっています。また、河川巡視の際の視野も遮られ、ゴミの不法投棄の温床となっています。このような河川管理上支障がある樹木の伐採を毎年、計画的に実施しています。

樹木伐採にあたっては、経費の節約と伐採木の有効活用を図るため、「① 希望する皆さんへ無償提供」、「② 自治体にバイオ燃料用として無償提供」、「③ 切り株の萌芽抑制」という三つの取り組みを行っています。

従来は、当事務所が伐採木を処分場まで運搬し、有料処分。



② バイオ燃料用として自治体へ無償提供

運搬費、処分費を削減。自治体は伐採木をバイオ燃料に活用している。



バイオ燃料の循環



① 希望者へ無償提供

運搬費、処分費が削減。薪ストーブやキノコ栽培等に活用している。



従来は、当事務所が伐採・除根。除去した根株を処分場まで運搬し、有料処分。

③ 切り株の萌芽抑制の試験施工

切り株からの萌芽対策で根株除去は高価であり、抑制処理を行うことで、伐採費全体を削減。今年度(R1)から覆土による追加試験を実施中。



萌芽抑制工(覆土)

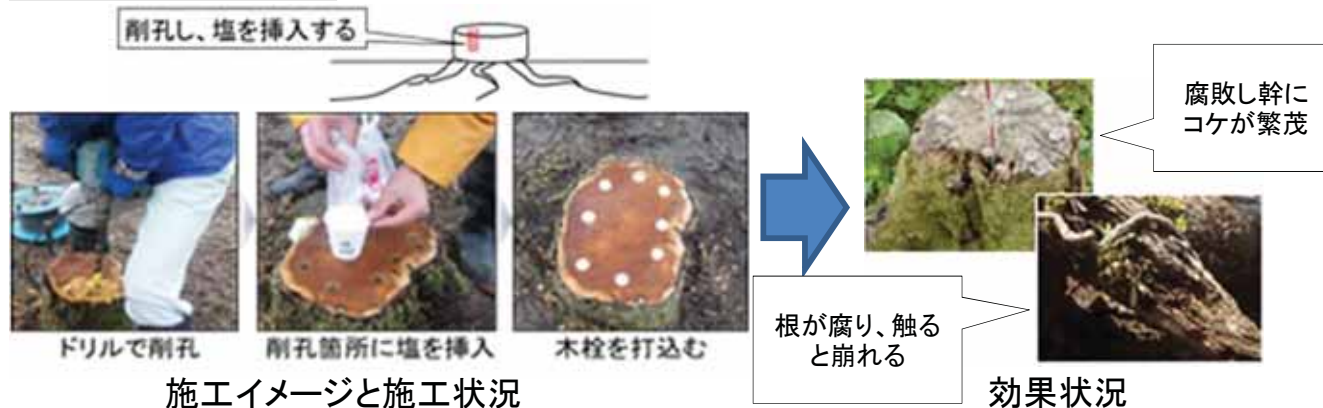


萌芽抑制工(塩挿入)

③切り株の萌芽抑制の試験施工

- 伐採にかかる処分費が高価となるため、コスト削減を観点に除根しない場合における伐採後の萌芽抑制を検討、H25年度から試験施工し、有効なケースについてH29年度より工事に活用しています。
- 結果、切株に削孔して塩を挿入する「塩挿入」、同様に削孔して木酢液を挿入する「木酢液挿入」、切株上面に木酢液を塗布する「木酢液塗布」の3つを有効な手法として選定。3手法は、枯死効果、施工性から使い分けを考案。「萌芽抑制施工の手引き書(案)」としてとりまとめました。
- 令和元年8月7日 新潟県村上地域整備部より依頼を受けて、萌芽抑制工の現場研修を開催しました。

塩挿入手法の場合



「河川内の樹木伐採における萌芽抑制手法の考案」は、平成31年度科学技術部門の文部科学大臣表彰において、創意工夫功労者賞を受賞しました。



萌芽抑制工の手引き(案)H30.3策定



R1.8.7 新潟県村上地域整備部 現場研修

新潟県村上地域整備部より伐採した切株への萌芽抑制工(塩で切株を腐らせる)の指導依頼を受けて、三面川において現場研修を開催しました。

工法の概要説明・デモの後、一連の工程を参加者全員で体験しました。

参加：伐採工事関係者39名、発注者14名



カテゴリ	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
内 容	出水時連絡体制の確認・整備
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所

- ・県、市と連携した内水排除訓練を実施
- ・排水ポンプ車、照明車及び緊急排水ポンプの設置・排水・撤去を実施
- 場所：阿賀野川右岸20.6k 太田川排水機場付近
- 日時：令和元年5月9日（木）9:00～11:00
- 参加者（約30名）

阿賀野川河川事務所
新潟県新発田地域振興局
新潟県津川地区振興事務所
阿賀野市
五泉市
新発田市
排水ポンプ車設営業者



位置図

新潟・福島豪雨時の状況(H23.7)



排水訓練の状況



集合



照明車設営訓練



緊急排水ポンプ投入



実働訓練



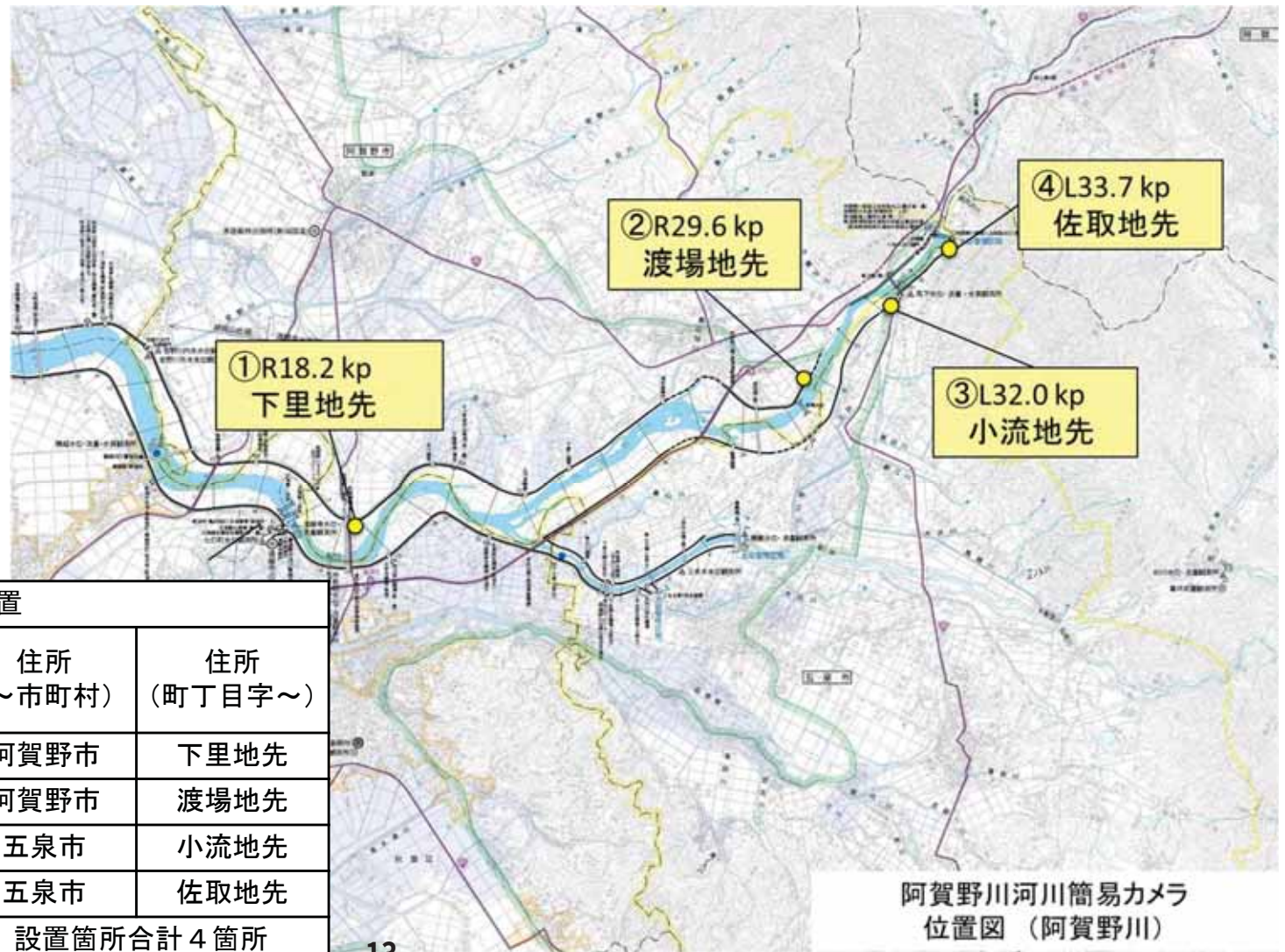
排水ポンプ車設営訓練



実働訓練

カテゴリ	円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置
内 容	簡易カメラの設置
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所

国土交通省阿賀野川河川事務所では、阿賀野川に4基の簡易カメラを設置中。令和2年度運用開始予定。



No.	名称	位置				
		河川	KP	左右	住所 (～市町村)	住所 (町丁目字～)
1	下里	阿賀野川	18.2	右	阿賀野市	下里地先
2	渡場	阿賀野川	29.6	右	阿賀野市	渡場地先
3	小流	阿賀野川	32.0	左	五泉市	小流地先
4	佐取	阿賀野川	33.7	左	五泉市	佐取地先
					設置箇所合計 4 箇所	

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信などプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内 容	川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所

国土交通省阿賀野川河川事務所では、Twitterを用いた情報提供を運用し、改善を検討中。

阿賀野川河川事務所 Twitter @milt_aganogawa



ツイート改善：発信内容、タイミング目安

ツイート内容 反省点

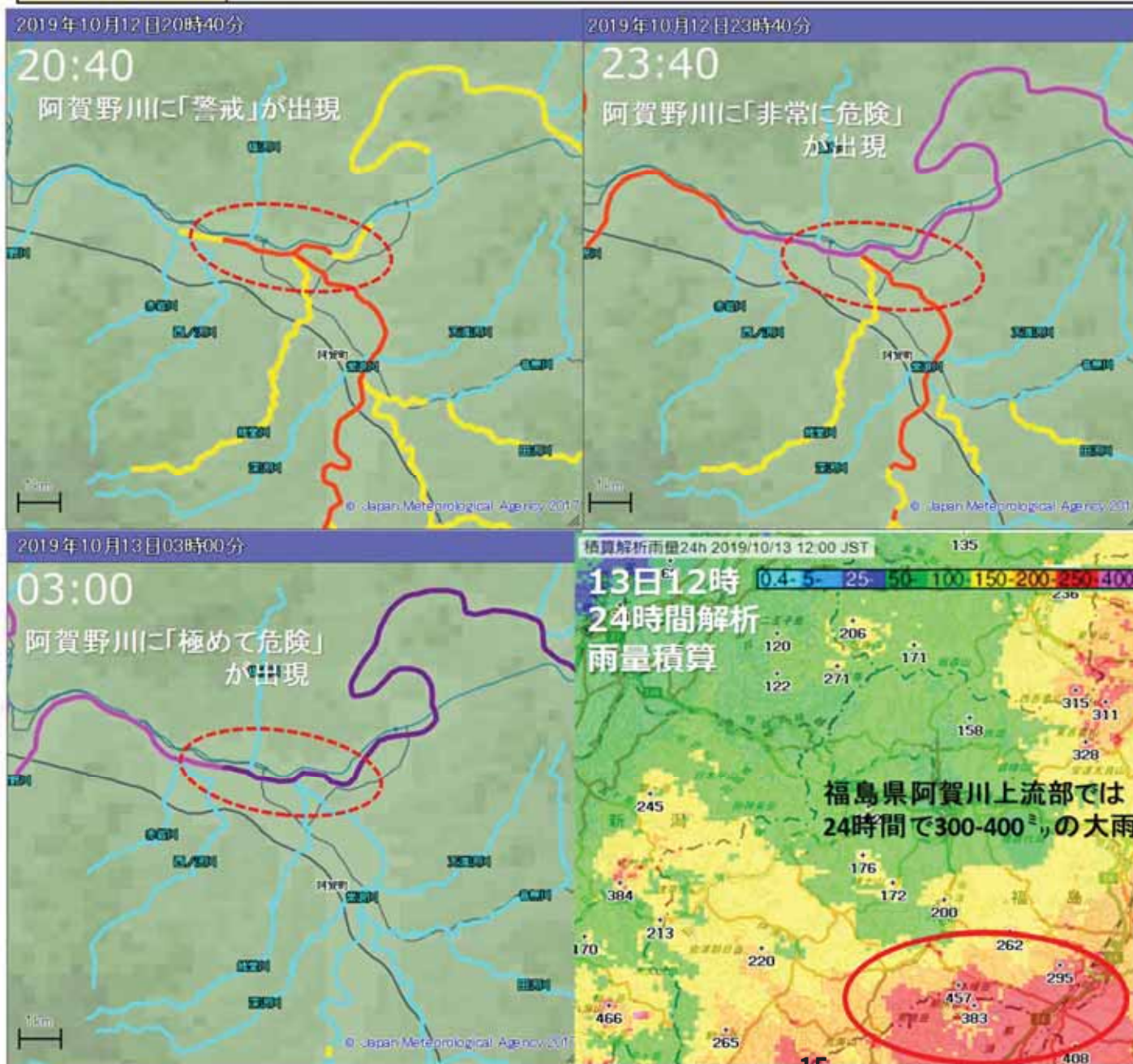
- ・ ツイートを見ても水位の情報がわからない
- ・ 文章だけでは河川の状況が伝わらない
- ・ 切迫感が伝わらない

改善に向けて

- ・ 定型様式の充実
- ・ 添付する情報の集約方法のマニュアル化
- ・ 発信内容・発信タイミングの整理

	発信内容	発信タイミング目安
①	啓発情報	大雨が予想される場合
②	川に近づかないでください	氾濫注意水位以上
③	雨量・河川水位等の実測値	基準水位超過 警戒レベル3以上となった場合、定期的（1時間毎程度）
④	河川水位に基づく洪水予報等の発表情報	洪水予報等発表後
⑤	被害発生情報（例：〇〇地区が浸水）	※洪水予報における警戒レベル5相当発表に対応

カテゴリ	■情報伝達、避難計画等に関する事項 ⑩気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
内 容	危険度分布メッシュ情報の充実化
実施主体	新潟地方気象台



阿賀町で氾濫発生

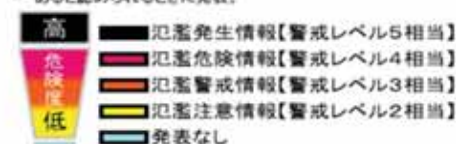
10月12日～13日にかけての台風第19号の通過により、福島県阿賀川の上流部では24時間解析雨量で300-400mmの大雨となった。この雨は次第に阿賀野川に流下し阿賀町では13日朝にかけて高水位となった。13日05:38に津川振興事務所より氾濫発生情報が発表され、阿賀町津川観測所では08:20に最高水位55.28mを観測した。この氾濫により阿賀町では床上6棟床下21棟の住家浸水が発生した。

洪水危険度分布では、20:40から「警戒」（警報）に達し、23:40に「非常に危険」（予測で基準Ⅲ）、03:00に実況で「極めて危険」（実況で基準Ⅲ）に到達し13日09:30まで継続した。

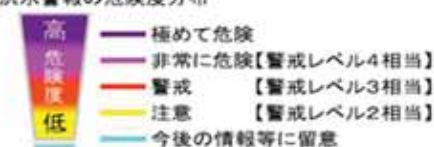
水位周知河川では、水位に基づく対応が基本ではあるが、津川観測所では01:10に危険水位を超過、危険度分布は23:40で避難勧告相当の「非常に危険」に到達しており、概ね1時間程度のリードタイムを保ち、適正な対応を示している。

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水警報の危険度分布



カテゴリー	■情報伝達、避難計画等に関する事項 ③避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善
内 容	県内全市町村への首長訪問実施と地域防災計画改定支援の実施
実施主体	新潟地方気象台

県内全市町村への首長訪問実施と地域防災計画改定支援の実施

【実施概要】

- ・ 日 時：令和元年4月～8月
- ・ 内 容：3月の避難勧告等に関するガイドライン（内閣府）改定を受けて、洪水警報の危険度分布活用に向けた地域防災計画の改定支援を実施。

【台長による首長との懇談】

- ・ 避難勧告ガイドライン改定（危険度分布の活用）、ホットライン運用による支援などを台長自らが首長に解説することでトップ間の連携強化と信頼関係の構築を促進した。

【防災担当者との打ち合わせ】

首長訪問に合わせて、さらに各市町村の防災担当者と気象台担当で避難レベル導入に伴う、流域雨量指数（危険度分布）の地域防災計画への反映についての改定支援を実施した。



2019.06.05新潟市 首長訪問



2019.07.08上越市 首長訪問



2019.07.22三条市 防災担当者打合せ

カテゴリー	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 ⑤ 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料（浸水実績含む）を作成・配布
内 容	洪水警報の危険度分布広報グッズ「危険度分布ルービックキューブ」の配布
実施主体	新潟地方気象台

ポスター「危険度分布ルービックキューブ」の配布

【実施概要】

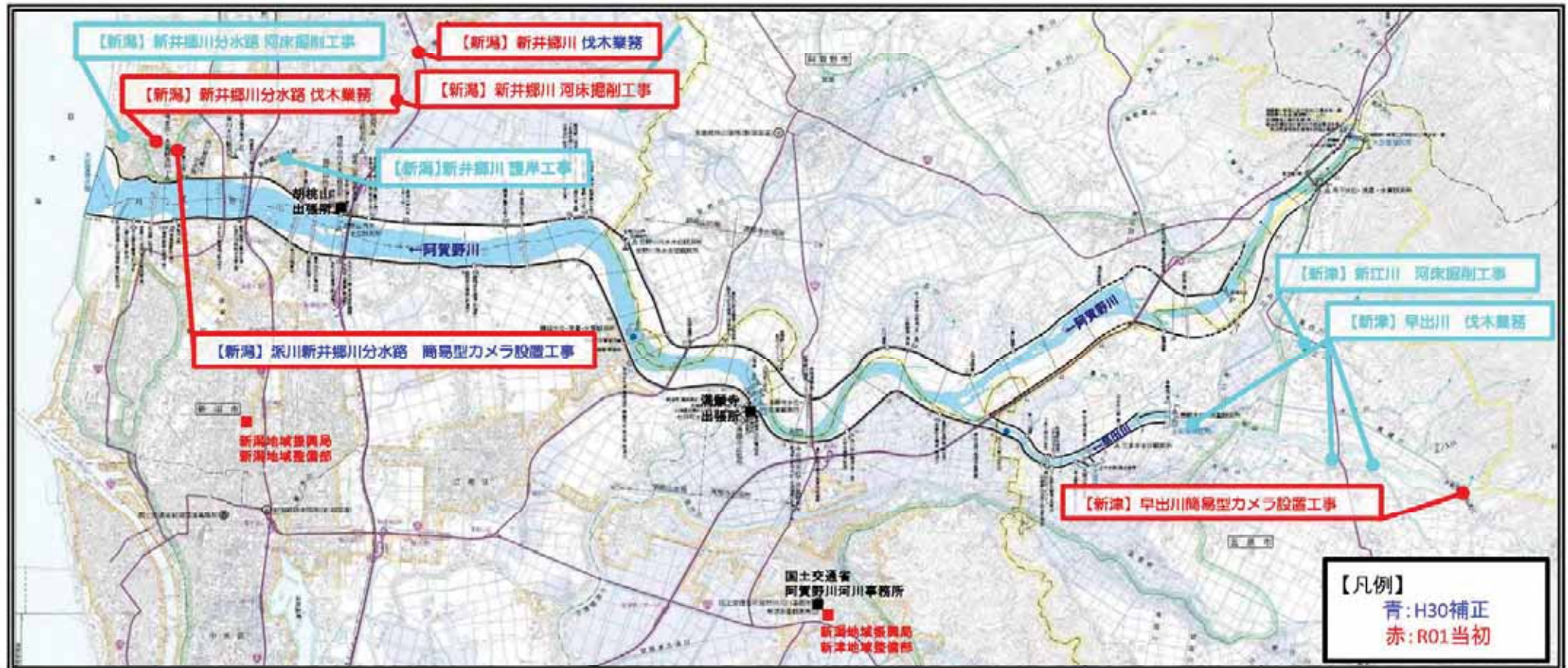
- ・ 日 時：令和元年8月末までに県内市町村の防災担当者に配布済。
- ・ 内 容：気象庁では、雨による災害発生の危険度を地図上に表示する「洪水警報の危険度分布」等を提供しています。危険度分布のレベル（色）と取るべき行動を日ごろから身近に感じて頂くため、「危険度分布ルービックキューブ」を県内全市町村に配布した。

いつも手元において、危険度の色で直感的に取るべき行動を思い浮かべるのに便利だとの声が多かった。





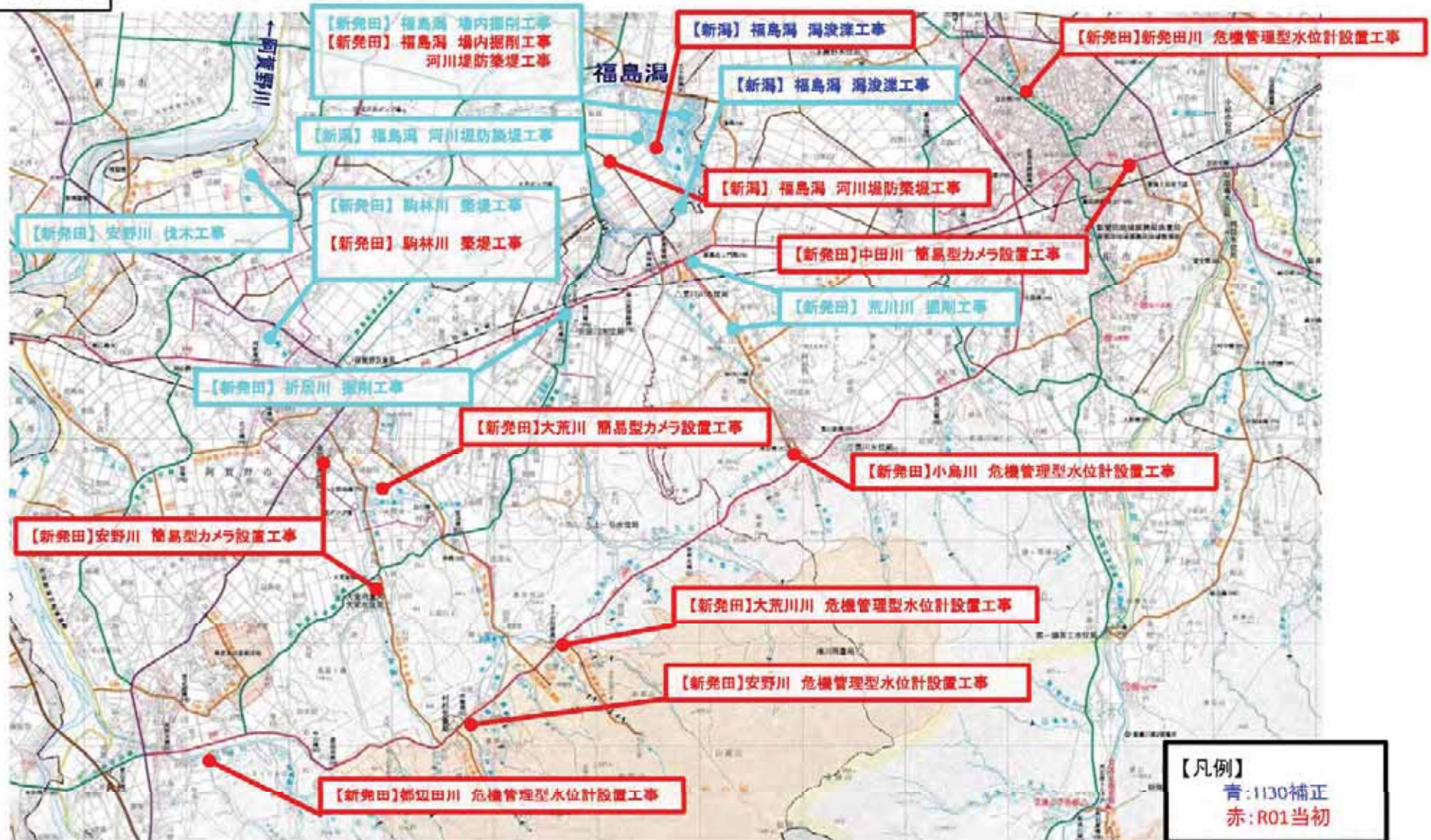
【新潟・新津地域整備部】 令和元年度 新潟県の河川事業の概要



ここに記載する内容は平成31年5月22日現在の見通し(予定)のため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。
 ※ H30補正については、一部発注を行い、現在施工中の箇所もあります。



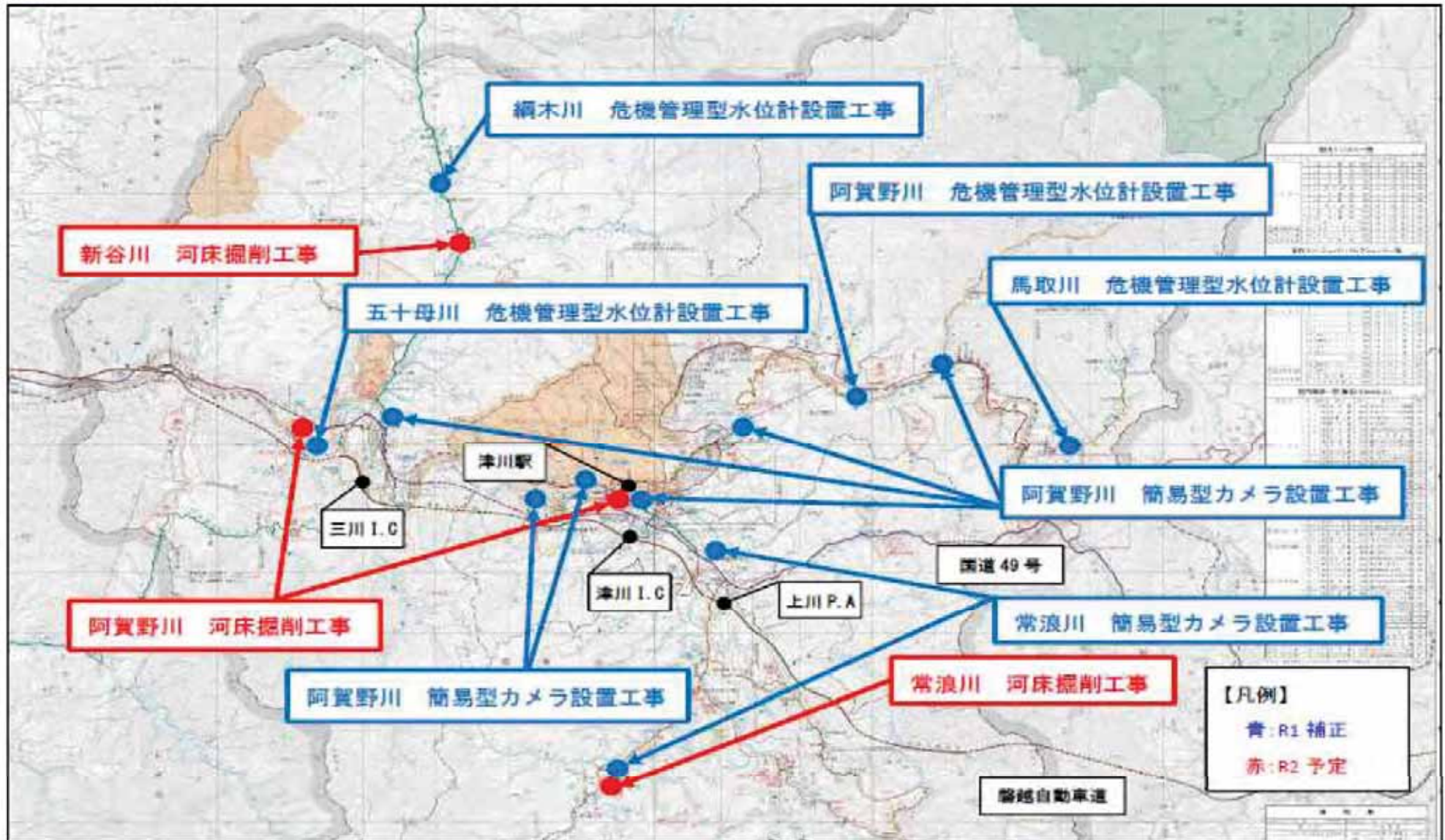
【新発田地域整備部(一部新潟地域整備部含)】令和元年度 新潟県の河川事業の概要



ここに記載する内容は平成31年5月22日現在の見通し(予定)のため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。
※ H30補正については、一部発注を行い、現在施工中の箇所もあります。



【津川地区振興事務所】令和元年度 河川事業の概要



ここに記載する内容は平成31年5月22日現在の見通し(予定)のため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。
 ※ H30補正については、一部発注を行い、現在施工中の箇所もあります。

カテゴリー	河道掘削等
内 容	河道掘削及び樹木の伐採の効果（河道掘削状況①）
実施主体	新潟県（新発田地域整備部）

「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。



荒川川【阿賀野市】



安野川【阿賀野市】



折居川【阿賀野市】



カテゴリー	河道掘削等
内 容	河道掘削及び樹木の伐採の効果（河道掘削状況②）
実施主体	新潟県（新潟地域整備部・新津地域整備部）

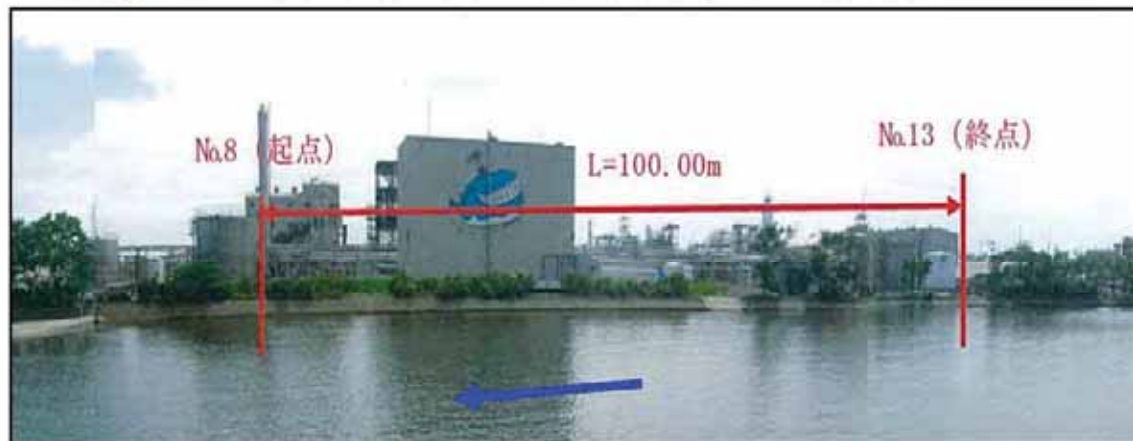
「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。



新潟地域整備部管内
新井郷川分水路【新潟市 北区】



新津地域整備部管内【五泉市】



カテゴリー	河道掘削等
内 容	河道掘削及び樹木の伐採の効果（河道掘削状況③）
実施主体	新潟県（津川地区振興事務所）

「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。



阿賀野川【阿賀町】



姥堂川【阿賀町】



カテゴリー	河道掘削等
内 容	河道掘削及び樹木の伐採の効果（樹木の伐採状況）
実施主体	新潟県（新潟地域整備部・新津地域整備部）

「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。



↓ 新潟地域整備部管内
新井郷川【新潟市 北区】



↓ 新津地域整備部管内
早出川【五泉市】



↓ 新津地域整備部管内
早出川【五泉市】



カテゴリー	円滑な避難活動や水防活動を支援するためCCTVカメラ、簡易水位計や量水計の設置
内 容	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備状況
実施主体	新潟県【新発田・新潟・新津地域整備部、津川地区振興事務所】

河川や河川管理施設のリアルタイムな状況を把握するため、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの整備を進めています。

【危機管理型水位計の整備】

予定年度：H30年度～令和2年度
 箇所数：全県で150河川182箇所
 （阿賀野川流域：17河川17箇所）
 水位情報の公開：一部公開中。R2年度出水期までに全箇所公開予定

【簡易型河川監視カメラの整備】

予定年度：令和元年度～令和2年度
 箇所数：全県で67河川124箇所
 （阿賀野川流域：7河川14箇所）
 画像情報の公開：令和2年度出水期までに公開予定

① 危機管理型水位計【令和元年度の設置済箇所（運用開始）】			
機関名	番号	河川名	設置箇所名（観測所名）
新発田	1	駒林川	阿賀野市 中央町2丁目
	2	七浦川	阿賀野市 大野地
	3	中田川	新発田市 緑町2丁目
新 潟	4	派川新井郷川 分水路	新潟市 北区 松浜本町
新 津	5	阿賀野川	五泉市 佐取
	6	仙見川	五泉市 夏針
津 川	7	姥堂川	阿賀町 津川

② 危機管理型水位計【令和2年度の設置予定箇所】			
機関名	番号	河川名	設置箇所名（観測所名）
新発田	1	小島川	新発田市 上中山
	2	都辺田川	阿賀野市 福永
	3	新発田川	新発田市 住吉町
	4	大荒川	阿賀野市 畑江
	5	安野川	阿賀野市 村杉
	6	瀬戸川	阿賀野市 草水
津 川	7	阿賀野川	阿賀町 日出谷
	8	綱木川	阿賀町 下綱木
	9	馬取川	阿賀町 馬取
	10	五十母川	阿賀町 五十島

③ 簡易型河川監視カメラ【令和2年度の設置予定箇所】			
機関名	番号	河川名	設置箇所名（カメラ屋名）
新発田	1	安野川	阿賀野市 金田町
	2	安野川	阿賀野市 大室
	3	大荒川	阿賀野市 大野地樋門
	4	中田川	新発田市 新富町
新 潟	5	派川新井郷川 分水路	新潟市 北区 新元島町
新 津	6	早出川	五泉市 不動堂
津 川	7	阿賀野川	阿賀町 実川島
	8	阿賀野川	阿賀町 白崎
	9	阿賀野川	阿賀町 津川
	10	阿賀野川	阿賀町 京ノ瀬
	11	阿賀野川	阿賀町 鹿瀬
	12	阿賀野川	阿賀町 西
	13	常浪川	阿賀町 広谷
	14	常浪川	阿賀町 天満

カテゴリー	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内 容	新潟県河川防災情報システムの改良
実施主体	新潟県【河川管理課】

新潟県河川防災情報システムを令和元年6月に全面リニューアル
危機管理型水位計の増加に伴い、視認性向上のため既存システムを改良

①トップページの改良



②「地図で見る」ページの改良



③「水位情報」ページの改良(予定)



リアルタイム情報の公開

地域住民の主体的な避難行動を支援

カテゴリー	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内 容	リアルタイムの水位情報の提供と浸水リスク情報の周知
実施主体	新潟県【河川管理課】

令和元年7月より河川情報のプッシュ型配信サービスの開始

もしもの時に備えよう！
「防災速報・新潟県」で河川防災情報及び緊急情報等を登録いただいた方にメールで配信します！

一 配信する情報

河川防災情報
県内の主要な35河川の水位情報及び氾濫発生情報を配信します！

登録時に受信したい河川及び情報を選択できます

配信メール（例）
【警戒レベル4相当】※
〇〇川の〇〇市〇〇付近で水位が上昇し、避難情報発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。一部が浸れるなどにより浸水の恐れがあります。防災無線、テレビ等で市町村の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動を取ってください。

※ 警戒レベルに応じた避難行動の例
警戒レベル3 の避難に時間を要する人とその支援者は避難所へ！
その他の人は避難準備を整えましょう！
警戒レベル4 の全員が避難を開始！

その他の緊急情報
緊急にお知らせしたい情報がある場合、メールを配信します！

一 登録方法

① 左記QRコードの読み取り又は新潟県防災ポータルより、サイトにアクセス
② 「登録メール」を送信
③ 登録用URLが記載されたメールが届く
④ 届いたメールの手順に従って登録

※1 登録料無料 ※2 通信用・パケット利用料金等は利用者の負担になります。

お問い合わせ：新潟県防災関係部署 TEL：025-338-538/新潟県土木部河川管理課 TEL：025-280-5414

登録制メールサービスによる
リアルタイムの水位情報の提供

**自らの命を
自ら守るための**

**新潟県公式
防災ナビ**

新潟県内の防災情報がプッシュ通知で届きます。

トッキンキ

防災情報
避難場所・避難場所検索
現在地情報
安全登録

インストール
App Store
Google Play

防災アプリによる
浸水リスク情報の周知

地域住民の主体的な避難行動を支援

カテゴリー	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料（浸水実績含む）を作成・配布
内 容	洪水時の避難に役立つ情報をまとめた地域版洪水対応ポケットブックを作成
実施主体	新潟地域振興局 新津地域整備部

洪水時の避難に役立つ情報をまとめ地域版「洪水対応ポケットブック（河川別想定最大規模浸水想定区域図付き）」及び洪水時の行動を促す「洪水時避難行動カード」を作成

○ 洪水対応ポケットブック

雨の強さと怖さ／雨量や雨雲を確認／河川水位の情報／テレビで河川水位を確認／河川の洪水の危険度を示す水位と水位ごとの避難行動／浸水想定区域図／洪水ハザードマップ／洪水に備えた心構え／洪水発生時の心構え／避難情報／気象注意報・警報／小阿賀野川・能代川浸水想定区域図／**早出川（県）浸水想定区域図**

○ 洪水時避難行動カード

正確な情報収集／早めの避難



洪水対応ポケットブック
小阿賀野川・能代川版
早出川版



洪水対応ポケットブック
折りたたむと名刺サイズになります

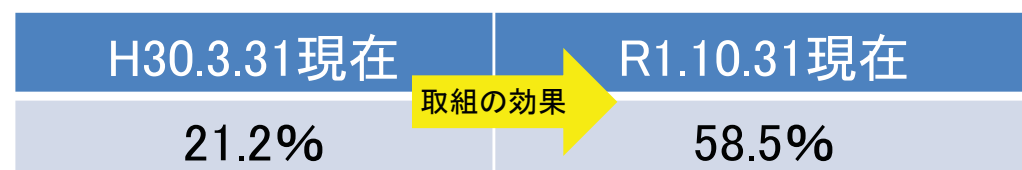


洪水時避難行動カード
雨の降り方がいつもと違う
ときに見るカード

カテゴリ	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
内 容	避難確保計画策定率向上に向けた取り組みの推進
実施主体	新潟市

本市では、対内的な「施設所管課への支援」と対外的な「対象施設への支援」を実施し、避難確保計画策定率向上に取り組んでいます。

【策定率の推移】



■対内的な支援(市の施設所管課への支援)

○施設所管課との定期的な担当者会議の開催(R1～)
○計画策定状況や対象河川等のハザード情報を確認できる「新潟市災害時情報システム」の導入(H30～)

■対外的な支援(各施設への支援)

○施設管理者への説明会の実施(H28)
★浸水情報や近隣避難所情報など計画作成に必要な情報を添付し、策定依頼を実施(H30～)
○市HPに計画の作成方法(計画ひな形及び見本等)を掲載(H30～)
○計画未策定施設だけでなく、新規施設や住所等の変更があった施設へ計画策定依頼文書の送付を実施(R1～)

【計画作成依頼時に添付している資料】

No	データ項目		出力データ	
	大項目	中項目		
1	施設名		〇〇〇〇	
2	施設番号		111111	
3	施設	種別	認知症高齢者グループホーム	
	ハザード	河川名	対象災害	浸水深
対象災害	洪水ハザード	全河川	○	0~0.5m
		阿賀野川	×	m
		早出川	×	m
		新井郷川・福島湯	×	m
		鳥屋野湯	×	m
		矢川	×	m
		鷺ノ木大通川・西大通川	×	m
		安野川	×	m
		能代川	×	m
		五社川	×	m
		太田川	×	m
		小阿賀野川	×	m
		信濃川	○	0~0.5m
		中ノロ川	×	m
		加治川	×	m
		新川・大通川・広通川・西山川	×	m
		大通川放水路	×	m
		新粟の木川・通船川	×	m
		西川	×	m
		飛騨川	×	m
		木山川	×	m
		東大通川	×	m
周辺避難所	浸水ハザード		-	
	津波ハザード		-	
	土砂災害ハザード		×	
	施設名称1	〇〇会館	距離	200m
	住所1	新潟市中央区～	距離	550m
備考	施設名称2	〇〇中学校	距離	550m
	住所2	新潟市中央区～	距離	550m
	施設名称3	〇〇小学校	距離	1000m
	住所3	新潟市中央区～	距離	1000m

カテゴリー	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	避難施設鍵ボックス整備事業
実施主体	新潟市

本市では、近年多発している大規模災害に備え、令和2年度から下記事業の実施を予定しています。

【現状と背景】

- 避難所施設の近隣に居住する市職員2名に対し、施設の鍵を貸与して夜間・休日の避難所体制を整備している。職員の居住地が避難所施設に必ずしも近接しているとは限らない。
- 大規模災害時には、避難所指名職員自身が被災する可能性もあり、避難所に参集できず、避難所施設を開放できないケースが想定される。

【事業概要】

(1) 目的

災害時、施設管理者が不在の時間帯でも、市職員の到着を待たずに、避難してきた住民が速やかに建物内に退避し、安全を確保できるよう施設開放体制の強化を図る。

(2) 実施内容

避難所として指定している施設を対象に、暗証番号式鍵ボックスを設置する。



鍵ボックスイメージ



事業効果

- ▶ 避難施設の開放体制の充実（避難所機能の強化）
- ▶ 迅速な屋内退避、避難者の安全確保

⇒防災活動の強化及び災害に強いまちづくりへ

カテゴリ	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	実践的な研修・訓練の実施
実施主体	阿賀野市、阿賀野川河川事務所、自治会等

自治会を対象に講座や訓練を行う「防災塾」を実施しました。

【実施概要】

- ・実施自治会数：9自治会（令和2年2月14日現在。講座のみを含む。）
- ・参加者数：延べ412人
- ・内容：①講座「地域の災害リスクを理解しよう」（自治会によっては「防災気象情報の意味と活用」）
②講座「災害時の行動を確認しよう」
③訓練



講座(阿賀野川河川事務所職員による説明)



避難場所へ避難する子どもたち



避難者カードの記入

カテゴリ	まるごとまちごとハザードマップを整備
内 容	洪水ハザードマップの検討・整備支援
実施主体	阿賀野市、阿賀野川河川事務所、自治会

2つの自治会において、まるごとまちごとハザードマップを整備しました。

【実施概要】

- ・ 整備自治会：窪川原自治会、粕島自治会
- ・ 参加者数：10人（窪川原自治会）
- ・ 内容：①まるごとまちごとハザードマップの説明
②まるごとまちごとハザードマップ看板の設置



まるごとまちごとハザードマップ看板の設置



まるごとまちごとハザードマップ看板

カテゴリー	協議会毎に地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施およびその状況を共有
内 容	ケアマネジャーの職能団体の災害対応研修の場等を活用し、ケアマネジャーへハザードマップ等を説明する
実施主体	阿賀野市、阿賀野川河川事務所

ケアマネジャーや介護事業所職員等を対象に、水害の危険性に関する説明会を開催しました。

【実施概要】

- ・ 日時：令和元年6月18日（火）午後2時～午後2時50分
- ・ 参加者：ケアマネジャー、介護事業所職員、障がい福祉サービス事業所職員、保育園・こども園・幼稚園職員等65人
- ・ 内容：阿賀野川における洪水被害想定やハザードマップ等に関する説明



阿賀野川における洪水被害想定に関する説明

カテゴリ	小中学校等における水災害教育を実施
内 容	出前講座(水害教育)の実施
実施主体	阿賀野市

神山小学校において防災授業を行いました。

【実施概要】

- ・ 日時：令和元年7月18日（木）午後2時45分～午後3時15分
- ・ 参加者：神山小学校全校児童90人
- ・ 内容：市職員（防災気象アドバイザー）による雨の降り方等に関する説明



防災気象アドバイザーによる説明(1)



防災気象アドバイザーによる説明(2)



児童による感想発表

カテゴリー	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内 容	町内会等への説明会等の実施
実施主体	五泉市

五泉市では、自主防災組織の設立支援や防災活動の支援等を目的に各町内会及び事業所において出前講座を実施しました。
【※令和2年2月現在】

【実施概要】

- ・ 実施数：18回
- ・ 参加者：558名が参加
- ・ 内 容：自主防災組織設立に向けた支援及び活動支援
各町内会・事業所における防災学習等

＜参考＞H31.4～R2.2の間に新規設立した自主防災組織 4組織 約560世帯



防災出前講座(市内小学校)



防災出前講座(市内小学校)



防災出前講座(町内会)

カテゴリー	関係機関と連携した水防、防災訓練を実施
内 容	出水期前の水防訓練の実施、地域住民等との防災訓練の実施
実施主体	五泉市

水防訓練及び防災訓練を実施し、消防団等の防災力の向上、地域住民等の防災意識の高揚を図り、関係機関との連携を強化しました。

【実施概要】

○水防訓練

- ・ 日時：令和元年6月2日（日） ・ 参加者：約240人
- ・ 訓練内容：シート張り工、改良積み土のう工、月の輪工、釜段工、積み土のう工

○防災訓練

- ・ 日時：令和元年6月9日（日） ・ 参加者：約660人 ・ 参加団体：30団体
- ・ 訓練内容：災害対策本部設置訓練、地域住民による避難訓練、災害情報広報訓練、関係機関による炊き出し訓練、ヘリによる吊り下げ救出訓練 等



災害対策本部設置訓練



地域住民による避難訓練



関係機関による炊き出し訓練

カテゴリー	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	自主防災組織の育成支援、地域防災力の向上
実施主体	新潟県・五泉市

自主防災組織の育成支援と、地域の防災力向上を目的とし、防災に関する情報の活用方法や、災害発生時の「避難」について学ぶ「自主防災シンポジウム2020 in五泉」を行いました。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和2年1月25日（土）13:30～15:10
- ・ 会 場：五泉市福祉会館 3階 大会議室
- ・ 対 象：市内町内会及び自主防災組織関係者、関係団体等
- ・ 参加者：120人
- ・ 内 容：演題 「地域の避難力を高める戦略的な情報活用」
講師 富山大学 都市デザイン学部 准教授 井ノ口 宗成 氏



シンポジウム会場の様子



講師（富山大学 准教授 井ノ口 宗成 氏）



会場入口に過去の水害に関するパネルを展示

カテゴリ	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善
内 容	阿賀野川、常浪川の水位観測所ごとに水害対応タイムラインを作成
実施主体	新潟県津川地区振興事務所・阿賀町

洪水時の避難勧告等発令の判断する一つの目安とするため、津川地区振興事務所と調整を図りながら作成。

・対象河川：阿賀野川、常浪川

※台風第19号災害では、今回作成の水害対応タイムラインを判断の一つの目安とし、関係機関の協力のもと町民を安全に避難誘導することができたが、さらに検証と改善を行う。



阿賀野川津川水位観測所水害対応タイムライン



常浪川広瀬水位観測所水害対応タイムライン



常浪川常浪水位観測所水害対応タイムライン

カテゴリ	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	洪水時、内水対応が必要とされる地区での水防訓練の実施
実施主体	阿賀町

洪水時、内水対応が必要とされる石間地区（阿賀野川流域）において、住民・消防団・防災関係機関が一堂に会し、情報の共有と有事の際に迅速な対応が行えるよう水防訓練を実施。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和元年5月26日（日）8：30～10：00
- ・ 参加者：地区住民、阿賀町消防団、阿賀町消防本部、阿賀町、津川地区振興事務所 30名
- ・ 内 容：現地確認、樋門操作訓練、情報伝達訓練



情報伝達の方法を確認



樋門付近の堆積状況を確認



実際に消防団が樋門操作を行う

カテゴリー	毎年、関係機関が連携した水防実動訓練等を実施
内 容	水防活動実務者研修会
実施主体	阿賀町

阿賀町では、消防団を主体とした水防活動が迅速及び安全に実施できるよう、訓練と併せ国立開発研究法人土木研究所から阿賀町災害情報共有システム（A R I S）についての説明を受けました。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和元年6月23日（日）13：00～
- ・ 参加者：阿賀町消防団、阿賀町消防本部、阿賀町、新潟県、東北電力会津ダム管理センター、阿賀野川河川事務所など105名
- ・ 内 容：阿賀町災害情報共有システム（A R I S）の活用方法、結索訓練等



土木研究所からの説明



消防団幹部を中心に受講



阿賀町災害情報共有システム（A R I S）